

## 1 経済日誌

2019年4月～2019年7月

全 国		和歌山・大阪	
4月1日	<b>新元号「令和」5月1日改元</b> 政府は、臨時閣議で「平成」に代わる新元号を「令和」に決定し、政令が公布された。出典は日本最古の歌集「万葉集」で、初めて国書から引用された。	4月1日	<b>南紀白浜空港 民営化スタート</b> 和歌山県が運営していた南紀白浜空港（白浜町）が、経営共創基盤（東京都千代田区）などが出資する南紀白浜エアポートの運営となり民営化がスタートした。
4月9日	<b>2024年に新紙幣</b> 財務省は、千円、5千円、1万円の紙幣（日本銀行券）を2024年度上半期に一新すると発表した。紙幣の刷新は20年ぶりとなる。	4月3日	<b>大阪の訪日客 昨年3%増</b> 大阪観光局は、2018年に大阪を訪れた訪日客が前年比3%増の1141万6千人と7年連続の増加だったと発表した。
5月10日	<b>米、対中25%関税発動</b> トランプ米政権は、米国が中国から輸入する年間約22兆円相当の製品に対する追加関税を従来の10%から25%に引き上げる制裁措置を発動した。	5月16日	<b>和歌山県産ミカン 収穫量1位</b> 近畿農政局は、2018年の県産温州ミカンの収穫量が15万5600トンで、都道府県別の収穫量は15年連続で全国1位になったと発表した。
5月13日	<b>景気判断6年ぶり「悪化」</b> 内閣府は、3月の景気動向指数の速報値を発表し、景気の基調判断をこれまでの「下方への局面変化」から、景気後退の可能性が高いことを示す「悪化」へと引き下げた。6年2カ月ぶりの「悪化」となる。	5月26日	<b>大学新キャンパス開設</b> 追手門学院（大阪市中央区）は、同大2つ目のキャンパス「茨木総持寺キャンパス」の竣工式を行った。現在の安威キャンパスから全学部1年次生と2学部が移転したほか、同学院中・高も全面移転した。
5月21日	<b>訪日客1000万人突破</b> 日本政府観光局は、1～4月の訪日外国人客数が前年同期比4.4%増加し1098万500人だったと発表した。1000万人に到達したのは、4月19日で過去最速だった。	5月30日	<b>大阪メトロ 増収増益</b> 大阪メトロは、民営化されて初の決算となる2019年3月期決算を発表した。営業収益は前年比2%増の1862億円、純利益は52%増の340億円となった。
6月28日	<b>G20サミットが開幕</b> 日本初開催の主要20カ国・地域首脳会議が、大阪市で開幕した。2日間の日程で、世界経済や貿易問題のほか、デジタル経済、気候変動問題なども議題としている。	7月1日	<b>商業捕鯨31年ぶり再開</b> 政府は、国際捕鯨委員会（IWC）から正式に脱会し、31年ぶりに日本近海で商業捕鯨が再開され、太地町からの出漁を含む捕鯨船が出港した。
7月1日	<b>路線価、4年連続上昇</b> 国税庁は、2019年分の路線価を発表した。全国平均の路線価は、前年比で1.3%のプラスとなり4年連続で上昇した。	7月1日	<b>県内路線価、27年連続下落</b> 和歌山税務署は、県内の路線価を公表した。県内平均の対前年変動率はマイナス1.3%となり27年連続の下落となった。
7月2日	<b>税収、最高の60兆円超</b> 財務省は、2018年度の国の税収総額が60兆3564億円となったと発表した。バブル期の1990年度（60兆1059億円）を上回り、28年ぶりに過去最高を更新した。	7月6日	<b>「百舌鳥・古市古墳群」世界遺産決定</b> ユネスコ（国連教育科学文化機関）の世界遺産委員会は、大阪府南部の「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産への登録を決めた。府の遺産が登録されるのは初めて。
7月10日	<b>人口 過去最大43万人減</b> 総務省は、今年1月1日時点の日本の人口を発表した。国内の日本人は、前年比43万3239人減少し1億2477万6364人となり、10年連続の減少となった。	7月10日	<b>「なにわ筋線」来春着工</b> 国土交通省は、大阪市中心部を南北に通る新鉄道路線「なにわ筋線」（約7.2キロ）の事業を許可した。来年4月に着工し、2031年春の開業を目指す。

## 2 地域開発のうごき

2019年4月～2019年7月

### 和歌山県内

#### 4月10日 バイオガス発電施設が完成

上富田町生馬に、中田食品が建設していた「梅調味液バイオガス発電所」が完成した。梅調味液を使った発電施設は県内初で、年間発電量は一般家庭400世帯分の200万キロワット時。

#### 4月20日 田辺市 芳養地区に津波避難タワーが完成

田辺市が沿岸部の芳養地区で建設していた津波避難タワーが完成した。タワーは、鉄骨2階建てで高さは約13メートル、備蓄倉庫やベンチなどがあり計120人の収容が可能。

#### 4月26日 県道・那賀かつらぎ線の拡幅が終了

かつらぎ町笠田中地区を通る県道・那賀かつらぎ線の拡幅整備が終了した。開通区間は町道かつらぎ山手線と国道24号間で、ほぼ全区間がJR和歌山線をまたぐ高架式となっている。

#### 4月26日 食品総合センターを着工

和歌山市は、本年度から着手する中央卸売市場（和歌山市西浜）の再整備工事の一環として、総合食品センター棟の起工式を行った。市場全体の再整備完了は2022年度中を目指している。

#### 5月18日 日高川町 県下最大級の防災センターが竣工

日高川町が、小熊公園に建設した県下最大級の町防災センターの竣工式が行われた。鉄骨平屋地下1階建てで、約500人が一時避難できるスペースや地下部分は備蓄倉庫を備えている。

#### 5月29日 田辺市、新庁舎案を提示

田辺市は、同市東山に移転新築する市役所本庁舎の基本設計案を市議会特別委員会に示した。鉄筋コンクリート6階建て延べ床面積1万6842平方メートル、2023年度中の完成を目指す。

#### 6月22日 阪井バイパスが開通

海南市重根から木津地内までを供用区間とする「国道370号阪井バイパス」が完成した。新道路は延長2.6キロ、2005年から事業を進めており事業費は約138億円。

#### 6月27日 和歌山市民会館 新築移転業者決まる

2度の入札が不調に終わっていた和歌山市民会館の新築移転計画について、同市は入札で工事業者が決まったと発表した。現市民会館を取り壊し、市立伏虎中跡地に新築移転する。

#### 6月29日 紀の川市内の2カ所の県道橋が開通

主要地方道岩出野上線の貴志川に架かる諸井橋と、県道垣内貴志川線の山田ダムのダム湖に架かる愛宕橋が同日に開通した。

## 3 地域開発のうごき

2019年4月～2019年7月

### 大阪府内

#### 4月19日 大阪メトロ 顔認証入場システムを導入

大阪メトロは、大阪・関西万博を控え、2024年度に全駅で顔認証によるチケットレス入場システムを導入すると発表した。顔認証の入場方式を採用する鉄道事業はなく、国内初となる。

#### 5月24日 交野市に大型物流施設建設

日本生命保険は、交野市に大型物流施設を建設すると発表した。投資額は100億円超で2021年5月の完成を目指す。同社の物流施設の開発は、関西で3例目となる。

#### 5月27日 阪神本店2期棟 6月1日着工

阪神電鉄などは、梅田の複合高層ビル「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」（地上38階建て）の2期棟を6月1日に着工すると発表した。百貨店他の全面開業は2022年春の予定。

#### 5月28日 新今宮で観光客向けホテルが起工

星野リゾートは、JR新今宮駅前で2022年4月の開業を目指すホテル「星野リゾート OMO7 大阪新今宮」の起工式を行った。敷地面積14000平方メートル、14階建てで客室数は436室。

#### 5月30日 淀屋橋に高層ツインビル

大阪市は、淀屋橋の御堂筋沿いに高さ150メートル規模の高層複合ビル2棟を建設する民間の事業を実現するため、同エリアを都市再生特別地区にする計画を発表した。

#### 6月3日 大阪駅北に新ランドマーク

ヨドバシホールディングスは、今秋に開業する「ヨドバシ梅田タワー」の開発概要を発表した。南接のビルを含め約200店舗の商業エリアと、1000室規模のホテルが入る新棟を設ける。

#### 6月8日 国立循環器病研究センター完成

吹田市岸部新町に移転を準備している国立循環器病研究センターが完成した。病棟や治療・診察施設、最新の医療機器や研究室を備え、病床数は550床で7月1日に移転オープンする。

#### 6月21日 梅田3丁目計画建設工事の入札を公告

日本郵便は、大阪中央郵便局跡地などに地上39階、地下3階の超高層複合ビルを新設する「梅田3丁目計画（仮称）建設工事」の一般競争入札を公告した。2024年の竣工を予定。

#### 7月17日 りんくうアウトレット増設

泉佐野市の「りんくうプレミアム・アウトレット」の運営会社は、施設を拡張して2020年夏に開業すると発表した。店舗面積は2割余り増え、国内最大級のアウトレットモールとなる。

## 4 関西国際空港

2019年4月～2019年7月

### 関西国際空港

#### 4月1日 関空－ロンドン線を就航

ブリティッシュ・エアウェイズは、大阪とロンドンを結ぶ唯一の直行便となる関空－ロンドン線を就航した。日本航空とのコードシェア便として、週4便で運航する。

#### 4月8日 関空連絡橋が全面再開

昨年9月の台風21号の影響で損傷し、一部で通行規制が続いていた関空連絡橋が、約7か月ぶりに上下線各3車線の計6車線で通行を全面再開した。

#### 4月10日 関空－合肥線、関空－鄭州線を新規就航

関西エアポートは、春秋航空が関空－合肥線を週4便の運航で、関空－鄭州線を週3便の運航で、いずれも4月17日に新規就航すると発表した。

#### 4月25日 関空 国際旅客数 5年連続最高を更新

関西エアポートは、関空の2018年度の国際線旅客数（速報値）が前年比4%増の2289万人となり、5年連続で過去最高を更新したと発表した。

#### 5月16日 関空－カトマンズ線を新規就航

関西エアポートは、ネパール航空が関空－カトマンズ線を7月4日より週3便で就航すると発表した。関空への就航は2007年以来12年ぶりで、日本とネパールを結ぶ唯一の直行便。

#### 5月24日 関空－イスタンブール線を運航再開

関西エアポートは、ターキッシュ・エアラインズが関空－イスタンブール線を2020年4月14日より週5便で運航再開すると発表した。2017年以来3年ぶりのトルコへの直行便再開となる。

#### 5月28日 関空－長沙線を新規就航

関西エアポートは、上海吉祥航空が関空－長沙線を7月1日よりデイリー便で就航すると発表した。今回の就航で同社の関空発着路線は、上海、銀川、南京、青島に続き5路線目となる。

#### 6月4日 関西エアポート 増収増益

関西エアポートが発表した2018年度の連結決算は、昨年9月の台風被害の影響を受けたものの、営業収益は前年度比7%増の2204億円、当期純利益は5%増の296億円となった。

#### 6月21日 関空－西安線を新規就航

関西エアポートは、海南航空が関空－西安線を7月1日より週3便で就航すると発表した。今回の就航により、同社の関空発着路線は、深圳、海口に次ぐ3路線目となる。

#### 7月1日 関空－マニラ線を就航

フィリピン・エアアジアは、関空－マニラ線をデイリー便で就航した。今回の就航はフィリピン・エアアジアとして初の日本路線となる。